

<2030 年の SDGs 達成に向けた経営方針等>

温室効果ガス排出量を 2050 年に実質ゼロにし、世界の平均気温上昇を 2℃未満に抑える地球温暖化防止を目標を掲げ、その目標達成に向けて 2030 年には 50%以上の削減を目指します。事業活動全体を通じて地球環境負荷を低減し、気候変動の抑制に貢献する企業を目指します。

<今期の SDGs に関する重点的な取組、指標及び実績>

三側面	取組の状況	前期の指標	実績
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	展示会実施時に環境配慮型機器を展示し来場者に環境配慮型機器のPRを図る	展示会時の訴求活動の実施 2023 年 2 回 → 2026 年 6 回	展示会時の訴求活動 2026 年 10 回実施
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	商談時には電気代削減シミュレーションを行い、環境配慮型省エネ機器の拡販に努める	省エネ機器の販売数(シーズン中) 2023 年 800 台 → 2026 年 1200 台	省エネ機器の販売数 2026 年 1507 台
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	ECO検定未取得者に対してECO検定試験実施時期が近づくと取得促進するようフォローを行う	ECO検定(環境社会検定試験)合格者 18 名 → 23 名全員合格	ECO検定(環境社会検定試験)18 名合格

- ・「取組の状況」には、前回登録申請した際の重点的な取組の実施状況やと指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。

<今期の評価>

コロナ禍が終わり、自粛モードであった展示会が活発に開催されるようになったため、展示会への参加回数が増え、積極的に環境配慮型機器をPRすることができた
 また昨今の電気料金高騰で省エネに対するユーザーの意識が高まっており、電気代削減シミュレーションを実施することで環境配慮型機器機器を拡販しやすく、目標販売台数を大幅にオーバーすることができた
 ECO検定については全員合格を目指して頑張ったが、社員の入退社、人事異動で目標未達に終わった。

- ・ SDGsの取組全体について、今期の振り返りや来期の展望などを記載してください。

<次期の SDGs 達成に向けての重点的な取組、及び指標>

三側面	SDGs に関する重点的な取組	指標 (更新時に向けた数値目標)
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	環境配慮型機器の拡販によるカーボンニュートラルの実現	2029 年 省エネ機器販売台数 1800 台
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	廃棄する商品カタログをリサイクルし、収益を公益財団法人かごしまみどりの基金に寄付することで地球温暖化防止に貢献	2026 年-2029 年 古紙リサイクル量 4 トン
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	ECO検定取得を環境目標とする	2029 年度 ECO 検定合格者 100%

- ・「SDGs に関する重点的な取組」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
- ・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。

事業所名:ダイキン HVAC ソリューション九州株式会社 鹿児島支店

<SDGs達成に向けてのパートナーシップ>

--

- ・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携があれば記載してください。